

CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)澤田ビル新築工事	階数	地上7F
建設地	広島県広島市安佐南区東原一丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条区域	平均居住人員	95 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年3月20日
敷地面積	992 m ²	作成者	岡本 祐二
建築面積	371 m ²	確認日	2019年3月28日
延床面積	2,154 m ²	確認者	岡本 祐二



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア = 3.3		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.7</p> <p>設計の計画的特段に配慮した事項</p> <p>外壁面・屋根面に断熱材を採用し窓はペアガラスを採用した。/ 自然光及び風を取り込めるよう外壁が2面外部になるよう計画した。/ 照明器具はLEDの採用で消費電力の軽減になるよう努めた。/ 躯体と内部仕上材はGL工法採用で分別容易にしている。又設備機器と内装材は錯綜しないようにして機器の取替え、仕上の変更を容易に出来るようにした。/ 外壁面・屋根面に断熱材を採用し窓はペアガラスを採用しCO₂の削減。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.8</p> <p>設計の計画的特段に配慮した事項</p> <p>出来る限り植込みを設け、植栽を設けた。/ 駐車場は住戸数の81%、駐輪場は住戸数の181%確保した。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.4</p> <p>設計の計画的特段に配慮した事項</p> <p>構造をRC造とし、住宅性能評価劣化等級2を取得する。又外壁はタイル貼りとし美観、補修等に配慮した。/ 給湯器、エアコン等の設備機器は容易に修理、取替えが出来るよう設置場所を考慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される